

平成29年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施及び評価結果

No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	地域住民で作る多目的芝生広場	200千円	平成27年度	b	a	a	a	a	A
	浅井報徳地域振興会	(427千円)	(3年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>浅井コミュニティセンター敷地内の約650㎡を、3年かけて芝生広場として整備する。</p> <p>①地域コミュニティの統合と維持向上を図る。</p> <p>②こどもの健全な心身の育成のため、裸足で遊べる場所を提供する。</p> <p>③地域住民の心身の健康保全及び増進のため、緑の空間を提供する。</p>				<p>多くの地域住民の協力を得て、計画的に多目的芝生広場を整備することができ、地域コミュニティの強化のみならず、整備費用の軽減という面でも一定程度の事業効果はあった。</p> <p>芝生広場は子ども達の遊び場として活用されているほか、住民から「パークゴルフのコースにしてはどうか」というアイデアが出されており、今後も住民同士の憩いの場、ふれあいの場として活用されていくと考えられる。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	地域で育てる心豊かな子どもたち～大好きふたうち「わんぱく学校・5限」～	100千円	平成27年度	a	a	a	a	a	A
	ふたうち地域振興会	(200千円)	(3年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>新興住宅地が増加し、世帯数も大きく増えている中、地域のことをよく知り、愛着をもって住み続けていくために、コミュニティセンターを中心に事業を行う。</p> <p>①みんなの本だな</p> <p>②三世代交流事業(夏季・冬季)</p> <p>③すくすく子育て事業</p> <p>④「内川・放生津八幡宮」歩こう会</p>				<p>単なる絵本読み聞かせでは参加者が少ないと考え、地域振興会の構成団体とも連携し、子ども達が楽しめる事業を同時に行うという工夫を行っていた。企画された事業はいずれも大盛況で、地域住民から継続を希望する声が多く聞かれたため、補助終了後も地域振興会の独自事業として「児童育成事業・わんぱく学校」として実施していくこととなった。</p> <p>地域住民全体で子どもを育て、地域への愛着を育てていくという目的は達成できており、事業効果は高かったと考えられる。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	地域住民(三世代交流)で作る活性化事業	200千円	平成28年度	a	a	a	b	a	B
	大門地域振興会	(334千円)	(2年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>平成27年度までにハード整備した多目的広場をソフト事業で活用していく。</p> <p>①三世代交流の活性化による健康意識の向上 ②地域住民の癒しの広場・各種団体との共同イベント ③防災・避難の拠点 ④新湊庄川線沿いの景観美化</p>				<p>地域住民の協力を得て、花壇の管理を行ったほか、住民同士の交流事業を実施した。100歳体操や鮎まつりは多くの参加者で賑わい、地域住民の交流の促進や地域の活性化に寄与した。</p> <p>コミュニティセンターの移転とも重なり、スタッフの負担が大きくなったという話もあったため、持続性の観点から、今後スタッフの充実を図っていく必要がある。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	伝統子供獅子の継承事業	172千円	平成28年度	a	b	a	b	a	B
	七美地域振興会	(260千円)	(2年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>地域伝統の子供獅子を通じて、祭りならではの盛り上がりや一体感を子ども達に伝えていくため、後継者を育成する。習い受けた成果を、地域の行事や地元の社会福祉施設でお披露目することにより活動を広め、獅子舞の継承と地域の活性化につなげていく。</p>				<p>伝統子供獅子の継承事業を通して、地域の子どもたちに獅子舞の文化や技能を引き継ぎ、地域の一体感の醸成につなげた。</p> <p>独自性や新たな発想を取り入れることは難しい内容ではあったが、地域行事でのお披露目や社会福祉施設との交流発表を行うことで、子ども達にとって自分の住む地域に愛着を持つきっかけにはなったと思われる。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
5	青少年育成事業を中心とした三世代及び地域の交流	200千円	平成28年度	b	b	a	b	a	B
	片口地域振興会	(301千円)	(2年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>地域の将来を担う子どもたちに健全育成を図り、笑顔あふれる活力ある地域づくりを推進していく。</p> <p>①将来を担う子どもの心身の育成 ②世代間交流の推進 ③地域コミュニティの形成</p>				<p>三世代交流や地域住民との交流を行うことで、青少年健全育成につながる事業であったが、参加者数が思うように伸びなかったという反省点がある。 今後は、地域振興会の構成団体等への協力の呼びかけや保育園や小中学校との連携を行うなど、事業効果を高める工夫を求めたい。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
6	たけのこふれあい事業	200千円	平成28年度	a	a	a	a	a	A
	黒河地域振興会	(440千円)	(2年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>黒河地区特産の「たけのこ」「竹林」をキーワードにまちづくり事業を行う。たけのこを掘り、たけのこを食べ、竹林について語り、荒廃した竹林の整備、竹の利用について語らい、ふれあい事業を通じて地区を活性化させる。</p>				<p>地域の特産品であるたけのこを活用して、地域住民がふれあう場を提供するという事業であるが、地区外からもたけのこ祭りに訪れる人が大勢おり、地域の活性化にもつながっており、事業効果は高かった。 たけのこ掘りの体験などを通して、竹林管理に対する地域住民の意識を高めていくことで、竹林整備の担い手育成につながられるよう、今後の展開に期待したい。</p>					



No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
7	ふるさとの歴史文化の再発見事業	200千円	平成29年度	a	a	a	a	a	A
	塚原地域振興会	(350千円)	(1年目)						
事業概要				担当課としての所感					
<p>地域に遺る「塚原地域歴史年表」を整理し充実させ冊子を作成し、地域全世帯に配布する。これにより、住んでいるふるさとの歴史文化を知り、現在までの塚原地域の成り立ちを把握して、塚原地区の未来への展望や発展につなげていく。</p>				<p>地域住民が、自らのふるさとの歴史や文化について知ることは、地域への愛着形成や文化振興にもつながるため、一定程度の事業効果はあったと考えられる。歴史年表が完成した後も、継続して歴史をキーワードとしたまちづくりが進められるよう、新たな切り口での事業展開を求めたい。</p>					

